

提出日：2012年 4月 18日

## MR12-E02 Leg3 クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- 航海番号:MR12-E02 Leg3
- 船舶名:R/V みらい
- 航海名称：東北マリンサイエンス拠点形成事業』海底地形・瓦礫の精密マッピングと海洋環境・生態系の調査
- 首席研究者〔所属機関名〕：野牧秀隆〔海洋研究開発機構、海洋・極限環境生物圏領域 〕
- 課題代表研究者〔所属機関〕：藤倉克則〔海洋研究開発機構、海洋・極限環境生物圏領域 〕
- 航海期間：2012年3月23日～30日
- 出港地～寄港地～帰港地の情報：八戸港出港（3/23）、横浜港入港（3/30）
- 調査海域名：東北沖太平洋

### 2. 実施内容

#### ● 調査概要

本航海は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震と津波により引き起こされた東北地方沖の海洋生態系への影響を評価し、被災地の効果的、効率的な漁業の復興に貢献することを目的とした。この航海は、東北マリンサイエンス拠点形成事業の一環として実施し、海洋研究開発機構は三陸沖の沖合底層生態系を対象に調査を行う。具体的には、地形と瓦礫の精密マッピング、生物分布と多様性、海水化学成分、堆積物地質構造と成分分析、生物の有害物質蓄積量に関するデータとサンプル取得を主に行い、生態系ハビタットマッピングの構築情報として利用する。

Leg3では海洋生物資源(漁業)環境の長期間モニタリング、を主観測目的とし、採泥試料を用いて資源生物の分布・行動の把握と個体群構造の解析、漁場における瓦礫マッピングと分解プロセスの解明、生物の栄養段階と有害物質蓄積評価、の解析も行った。採水にはCTDロゼッタ採水器を、採泥にはマルチプルコアラーを用い、計14地点での採水、8地点での採泥を行った。試料は船上で分析もしくは分取し、今後陸上で分析、解析を進める。また、航海中はマルチビーム測深器、船上重力計、磁力計などを用いた観測も行った。

#### ○ プロジェクトの名称

東北マリンサイエンス拠点形成事業